

雑感

小野 賢右

大学に入って、相当暇な時間が増えるに
ラウと思つていたのだが、残念ながら毎週
レポートその他に追われ、進級に関するの
圧迫感も加わつて、本當に羽根さのはずと
いうわけにはいかなり。サイクリングの方
も、これまで、楽しかつたこと30%、いや
かつたこと70%という具合で、何をヤつて
もなかなかなかうまくいかない。他の人の中に
は常に要領よく、うまくヤつている人もい
るようだが、自分はずともそのようはわけ
たはいかなり。そんな中で、道路地図や時
刻表を升ながら、旅行の計画を立てる力は
なかなかに身についている。走るコースと

いろいろと考えるが、また見ぬ土地の景色は
どを想像したりする。しかし、それらの計画も
日程や費用などの現実的問題を考えると、ただ
の夢に終つてしまつたことが多いのです。

旅の良さにもいろいろあるが、僕は特に「あ
ぐり会い」ということを挙げたい。旅をして一
番印象に残るのは、いろいろな事柄や人にめぐ
り会つたことである。都会で育ち、自然に対す
る感動があまりおこらない自分としては、「あそ
びで会つた女の子は」といふような事が頭に
残りがちである。まあ何でもいいからとにかく
旅でなければ味あえないものも味あつた
から、その旅行は成功だったといふことになる
でしょう。

そのようは楽しさを増すためには、レポートは

日程と組まず、ゆったりとした旅をしたい。
僕は一応どこどこを見たいからどうしてても
このような日程でいく。というようなことは
あまりしなくていい。明らかにつまらない
場所を別として、結構おもしろそうだと思う
った場所なら、あまり細かいことを気にせ
ずにコースを決める。こんな有名なところ
と見なかった。といったって、別に二まる
こともない。自分がよかったと思えば、そ
れで充分でしょう。

サイクリングの形式もあまり気にしなく
ない。どこかの自転車屋の広さに、〇〇〇
は輪行車を卒業したサイクリストだけが乗
る車です。というのがあるが、それは正統
派とかいうことを気にする必要はない。
輪行という便利な手段があるのだから大い

に活用すればいい。一日の走る距離がどうして
も長すぎる場合には、何回か途中輪行してもい
いだろうと思う。そんな所で金がかつたいい
はんていうけちな考えはしなくていい。旅は、安全
快適でありたいものです。

結局、軟弱こそ最高。というのが私の考えは
のであります。